

四国医療工学専門学校

学校新聞 2月号 学校の行事や魅力を毎月お届けします！

頑張る学生コーナー	1
臨床工学技士全国統一模擬試験	2
医師事務作業補助技能認定試験	2
龍馬マラソン救護ボランティア	2
高等学校での医療体験	2
秘書技能検定試験	3
オープンキャンパス・ 入学前サポート学習	3



NICE

頑張る学生をご紹介します！
川村 怜依さん

臨床工学学科 3年
高知県立高知東高等学校出身

今回は、臨床工学学科3年生の川村 怜依さんにインタビューをしました。川村さんは兵庫県神戸市にある神戸徳洲会病院に就職が内定しています。

そんな頑張る川村さんに、いくつかの質問をしてみました！

Q & A

Q1 臨床工学技士を志したきっかけは？

私は、姉が看護師をしている為、その影響で医療系の職業に興味を持ちました。看護師以外の医療系の職業を調べた時に臨床工学技士を知りました。同時に、自宅の近くに臨床工学技士養成校（本校）があることを知り、オープンキャンパスに参加し非常にいい仕事だと感じたため、志望しました。

Q2 本校に進学を決めた理由は？

高校生の時に本校のオープンキャンパスに何度も参加し、人工心肺装置や人工呼吸器、人工透析器など、いろいろな医療機器を体験させていただきました。その時に「すごいな」という気持ちとともに、「このようなことが（自分の仕事に）できたらいいな」という気持ちになり、本校に進学を決めました。

また、国家試験合格率13年連続100%ということを知り、「この学校であればきちんと教えてくれそう」と強く感じました。

Q3 今、特に頑張っていることは？

国家試験の勉強です。特に、自分が得意なところを完璧にして平凡なミスがなくすよう心掛けて勉強しています。こうした勉強を通じて、自分の心を強く持つことを学んでいる気がします。気持ちが落ち込んでやる気がなくなることは嫌なので、強い気持ちで勉強を頑張っています。

Q4 学生生活について

楽しく学校生活を送っています。（国家試験が近づいている）今の時期は勉強するため友人と仲良く話すことは少なくなりましたが、お互いに励まし合いながら頑張っています。

Q5 本校の良いところは？

挨拶や礼儀を教えていただけることが良いことだと思います。特に、就職活動や臨床実習の際に（学校で）厳しく言われたことが自分のためになったと感じました。臨床の現場では「教えていただく立場」であることを意識することが大切だと思うので、本校で挨拶と礼儀を教えていただきよかったです。

Q6 好きな授業とその理由は？

医学と体外循環の授業が好きです。医学は体の構造がおもしろく不思議だと思えることが多いので好きです。

体外循環は最初に参加した（本校の）オープンキャンパスで、凄すぎて何もわかりませんでした。それで降学んでいくうちに、さらに凄くて難しいと感じるようになりました。そのことでさらに学びたいという気持ちが強くなり、今後も学び続けていきたいと考えています。

また、（体外循環）担当の先生に熱心に教えていただけることも興味を持っている理由です。

Q7 臨床実習ではどんなことを学びましたか？

一部ではありますが、仕事の大変さを知ることができました。また、臨床の現場を見て自分の働くビジョンを思い浮かべられたと思います。さらに、臨床工学技士として看護師など他の職種の人とのかかわりの重要性を学びました。

一人ではなくチーム医療として色々な人と協力して仕事をすることを教えていただきました。

Q8 神戸徳洲会病院に就職しようと思った理由は？

私は就職活動の際、兵庫県にある病院を志望していました。また、体外循環をしたいと考えており、人工心肺業務のある総合病院を志望しているなかで神戸徳洲会病院を見つけ、「ここだ」と思い就職を決めました。

Q9 これからの目標は？

まずは国家試験に合格することです。その後、就職した病院で臨床工学技士として胸を張って仕事をできるようになりたいです。

Q10 高校生に向けて一言

進路に迷っているのであれば、興味がなくても仕事を調べてみたり、自分のやりたいことを見つける為に動いてみたりすることが第一歩になると思います。

医療系はたくさん職種があり、ずっと必要とされるのでオススメです。

（記者：赤嶺）

1/27

臨床工学学科

医療情報学科

臨床工学技士模擬試験を受験

1月27日（金）、臨床工学学科3年生が第67回全国統一模擬試験を受験しました。

一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会が実施している年3回の模擬試験で、今回が3回目の実施となりました。

試験は、午前・午後ともに2時間30分で各90問をマークシート方式で回答します。国家試験と同条件という事もあり、みんな真剣に取り組んでいました。

学生からは「午後の問題が難しかった」という声が多く聞かれました。「過去問を解いて対策をしていたけれど、今まで見たことがない問題が多かった」との感想もあり、本番に向けて課題が見つかったのではないのでしょうか。

また、「難しかったけれど135点は取れていると思う」という頼もしい学生もいました。（臨床工学技士の国家試験は、180点満点で108点（6割）以上取れば合格です）

今回の経験を活かして、解けなかった問題を復習するなど、最後まで諦めず勉強を続けていきましょう。目指せ全員合格★

（記者：赤嶺）



真剣な表情で
受験していました☆



2/19 龍馬マラソンに 救護ボランティアとして参加



医療情報学科

臨床工学学科

2月19日（日）、3年ぶりとなる高知龍馬マラソンが開催されました。当日はボランティアスタッフとして本校学生が参加しました。

ボランティアの内容は、救護対応の記録、医療従事者や県職員の方のサポート、車いすでのランナー搬送、周辺の巡回などです。事前の説明会も本校にて開催され、救護体制について地図やマニュアルを使って確認し合い、万全の体制で大会当日を迎えました。

当日は海外ランナーを含む約7000名の方が出走し、そのうち9割以上の方が完走されました。体調不良による救急搬送が2件あったとのことですが、2件とも医療機関で処置後無事帰宅されたそうです。大会前には「何事もなく（救護ボランティア）を終えたい。」「いろんな人を助けたい。」と語っていた学生たちも、無事大会が終了し安心していていることと思います。達成感あふれるランナーのみなさんの姿を見て、とても元気をもらうことができました。（記者：赤嶺）



高等学校での医療体験出張講座

2月3日（金）、中村高等学校西土佐分校へ本校の教職員が出向き、医療職の体験講座を開講しました。

当日は、1・2年生を対象に、穿刺（注射）・電気メス・心電図モニター・エクモ・医療費計算など、様々な医療職の体験ブースを設けました。

初めは上手く注射を刺せなかったり、慣れない医療費計算の説明に戸惑っていた生徒の皆さんも、説明を受け実際に体験してみると、少しずつ慣れて積極的に参加されていました。心電図モニターでは、自分や先生のバイタルサイン（血圧や脈拍、血中酸素濃度など）を見て一喜一憂。電気メスで肉を切る体験では、音・匂い・煙に驚きながらも楽しそうに体験されていました。

医療体験出張講座は、今後も高知県内外の高等学校で開催していく予定です。（記者：野村）



秘書技能検定試験2級を受験

医療情報学科1年生の希望者が秘書技能検定試験2級を受験しました。

この試験は公益財団法人実務技能検定協会が実施する試験です。試験に合格すると、秘書に求められる知識・技能のみならず、一般常識や敬語の使い方、電話応対やビジネス文書の作成など、社会人に欠かせない能力が身につけていることを証明できます。

受験した学生に勉強方法を聞いてみると、「覚える内容や忘れそうな内容にマーカーで線を引いて何度も見直した。」「単語や漢字を中心に覚えた。」とのこと。

試験問題については、「引っ掛け問題が3級と比べて多かった。」「見直しても正解しているか不安です。」となかなか難しかった様子。ですが、「学校で補講の時間を作ってくれたのでよかった。」とのことで、「先生から教えてもらった内容は確実に解けた。」と自信を持って話してくれました。嬉しい報告が聞けることを楽しみにしています♪（記者：赤嶺）

オープンキャンパス・入学前サポート学習を開催

2月11日（土）、第12回オープンキャンパスと第4回入学前サポート学習を開催しました。

〔オープンキャンパス〕

医療情報学科では「調剤薬局事務の仕事体験しよう」という内容で処方せんを見ながらの点数の計算や、薬を選んで薬袋作りを実施、臨床工学学科では、「人工呼吸器を体験しよう」をテーマに体験学習を行いました。まずは肺の役割について説明し、人工呼吸器での治療について学びました。実際に操作の体験も行い、とても興味を持って触れていただきました。体験した生徒さんより「臨床検査技師や放射線技師と臨床工学技士の違いがよくわかった。」との感想もいただきました。

〔入学前サポート学習〕

医療情報学科は「パソコンに触れてみよう」ということでパソコンを使用して文章入力の練習をしました。参加した生徒さんは「初めて習う操作です。」と最初は緊張した様子でしたが、徐々に「うまくできるようになってきました。」と手応えを感じていました。臨床工学学科では「臨床工学技士に必要な化学とは？」をテーマに入学後に実施する新入生テストの解説も踏まえた化学の授業を行いました。「特に化学が不安だったので今日学べてよかったです。」と生徒さん。入学前の不安が少しでも解消できていたら嬉しいです。（記者：赤嶺）